

## Imaging Team

### 掲載内容

#### 営業情報

- 一部製品の価格改定を実施しました(Lumencor、X-Light 他)
- 5012687 オプションでオリンパス Cell TIRF ユニットが制御できるようになりました
- X-Light 製造元の CREST OPTICS の WEB サイトが新しくなりました
- Meta シリーズソフトウェアをお持ちのユーザー様に対して Imaris ソフトウェアの販売が可能となりました

#### 技術・サポート情報

- V7.8.2 Updater をリリース

#### Journal の紹介

- Z ポジションをグラフにプロットする Journal について
- Multidimensional Acquisition と Stream を組み合わせた多点タイムラプス

## 営業情報

製造元の価格改定に伴い、一部製品の価格を変更しました

Lumencor 社

SOLA-SM の定価は据え置きですが、標準添付されていたフットペダル(定価6万円)がオプションとなりました

LLG 用コリメータが顕微鏡メーカー毎にモデル番号が設定されました

X-Light 用 SMA ファイバーアダプタの金額を変更しました

CREST OPTICS 社

X-Light 共焦点スキャナの構成が変わりました

共焦点スキャナユニット(本体)			
No.	型 式	内 訳	定 価
1	X-Light	共焦点スキャナユニット 70um/40um可変ハイブリッドディスク仕様, 10,000RPM	¥5,300,000
2	X-Light-HS	共焦点スキャナユニット 高速スキャンモデル 70umディスク仕様, 15,000RPM, sCMOS対応(22x22mm)	¥5,750,000
3	X-Light-HS DUAL HEAD	共焦点スキャナユニット Twinカメラヘッドモデル 70umディスク仕様, 15,000RPM, sCMOS対応(22x22mm)	¥7,250,000
4	X-Light HYBRID DUAL HEAD	共焦点スキャナユニット Twinカメラヘッドモデル 70um/40um可変ハイブリッドディスク仕様, 10,000RPM	¥6,650,000

合わせて顕微鏡アダプタや追加可能オプションも増えました

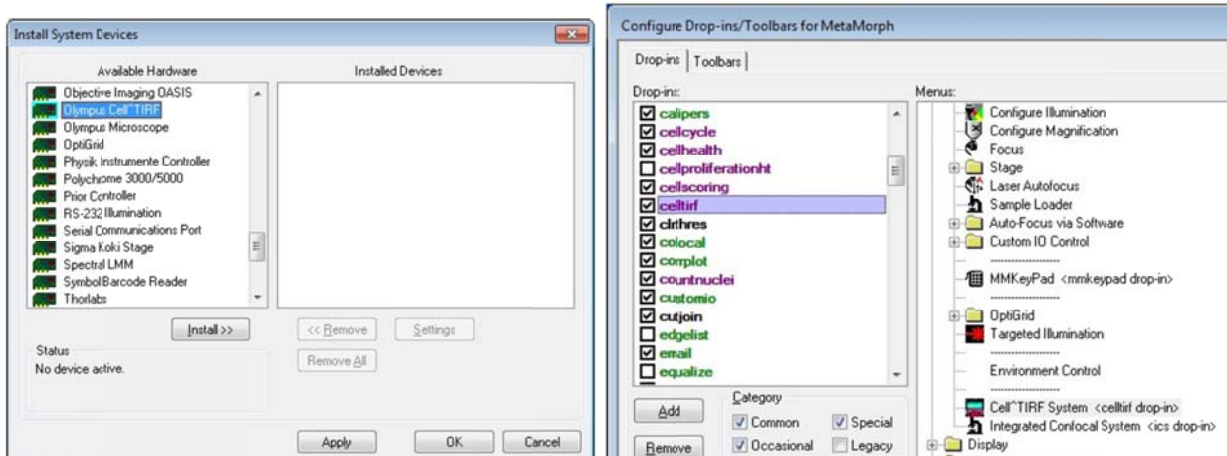
※ 詳細は担当営業までお問い合わせください

## Cell TIRF ユニットの制御について

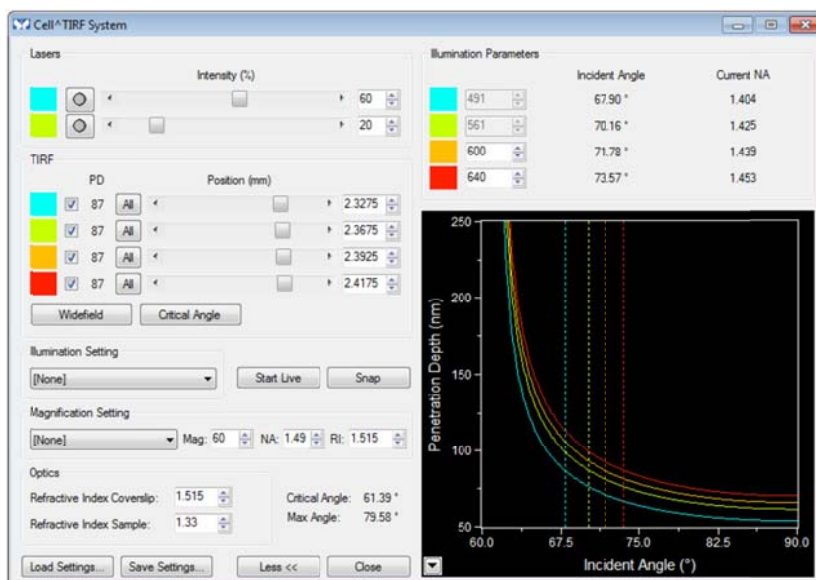
5012687 MetaMorph コンフォーカルオプション (定価 55 万円) でオリンパス純正 Cell TIRF ユニットの制御が可能となりました。



使用するためにはまず Cell TIRF 用 USB ドライバをインストールし、MM Administrator で Olympus Cell TIRF を選択後、Settings で COM ポートを設定します。なお、Drop-Ins では celltirf に必ずチェックを入れてください。



MetaMorph を起動後、Devices メニューから Cell TIRF System を用いることで Laser 出力や TIRF 照射角度等の設定が可能となります。



## CREST OPTICS の新 WEB サイトについて

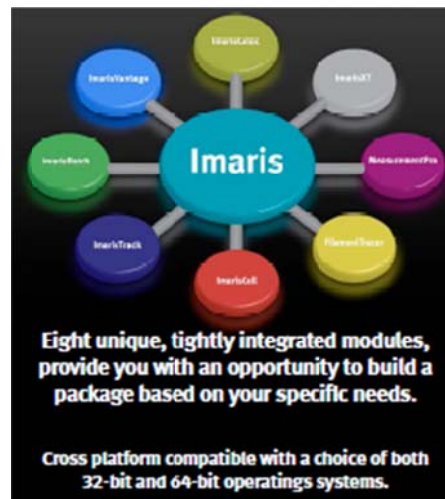
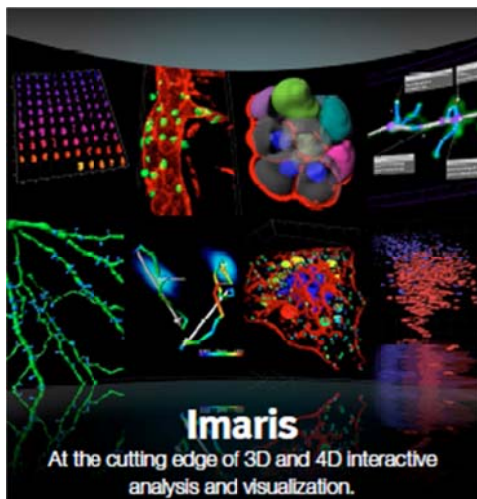
新しくラインナップされた製品群を含め、最新情報をご覧ください。

<http://www.crestopt.com/index.html>



## Imaris ソフトウェアの販売に関して

Bitplane(アンドール・テクノロジーPLC)様お取り扱いの 3D/4D Microscopy 用ソフトウェア Imaris を既存 Meta シリーズソフトウェアユーザー様に対して、販売が可能となりました。Imaris は、共焦点画像の立体構築をはじめとし、オプションで用意されている追加モジュールを組み合わせることで MetaMorph では解析しきれなかった部分を補うことが可能となります。



※ Imaris 7.6 コアプログラム 定価 95 万円より

## 技術・サポート情報

### V7.8.2 Updater をリリース

Meta Imaging Series バージョン 7.8.2 がリリースされました。

メンテナンス期間内の Meta Imaging Series ソフトウェアは、下記 URL からアップデートファイルをダウンロードして、バージョン 7.8.2 にアップデートすることができます。

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/>

こちらから ID 番号を入力して Login し、「7.8.2 Update」をクリックします。

※ 32bit OS をご使用の場合は、「MM782-32.zip」になります。

※ 64bit OS をご使用の場合は、「MM782-64.zip」になります。

メンテナンス期間は ID (System ID, 4桁または5桁の番号)ごとに異なります。

メンテナンス期間は、

<http://www.meta.moleculardevices.com/Authorize/>

から、Version の選択と System ID を入力することで確認することができます。

STEP 3 に期限の日付が表示されます。

バージョン 7.8.2 の主な変更点は下記になります。

#### ハードウェア制御関連

##### DOC-CAM

ドライバの改善

##### Photometrics PVCAM

Streaming 時のドライバ改善

##### Andor FRAPPA

64 bit OS でのサポート開始

Streaming 中に FRAPPA のパルス照射を可能にした

##### ASI MS2000

MS2000 の接続を改善した

##### Olympus Cell TIRF

Cell TIRF ユニットのサポートを開始

##### Olympus Microscope

電動顕微鏡の DIC と右サイドポートの制御を可能にした

ZDC 制御時の "SetFocus" をクリックする時の問題を修正した

Meta Imaging Software 制御時の MCZ からの Mirror Unit 回転方向を修正した

Continuous Autofocus 制御時の問題を修正した

##### RS232 Illumination Driver

Filter Wheel component の改善

##### Zeiss COM MTB

COM MTB version 2.1.0.8 のサポート開始

フォーカスの動きを修正した

## MetaMorph 関連

### Measure Pixel

カラーポップアップリストの修正

### Multi Dimensional Acquisition

波長切り替え時の ASI CRISP の動作の修正

Streaming のトリガー設定を可能にした

AF Offsets の修正

### Show Graph Data

Close data log ボタンを追加した

### Stamp Calibration Bar

Overlay スタンプと画像書き込みスタンプの選択を可能にした

## MetaFluor 関連

### Build INF File

Stack File からの作成を可能にした

### Convert DualView Images

3 桁拡張子使用時の問題を修正した

### Show Graph Data

Close data log ボタンを追加した

### Z Position Control

Continuous Focusing 使用時のダイアログ修正

## **オリンパス社製 ZDC を使用する場合について**

SalesNote FY1306 で報告いたしましたバージョン 7.8.1 でオリンパス社製 ZDC を使用した場合のバグが、バージョン **7.8.2** で修正されました。

バグ内容としては、ZDC 設定のダイアログの **Set Focus** を繰り返しクリックしますと、オフセット値が正しい値と誤った値を繰り返し表示していました。

これは、Apps メニュー、Multi Dimensional Acquisition ダイアログ、Stage タブ内と Devices メニュー、Focus ダイアログ、AutoFocus タブ内のいずれの **Set Focus** をクリックしても、同じように不具合が生じておりました。

バージョン 7.8.2 では、上記いずれの場合も修正されておりますので、バージョン 7.8.2 に上げられる ID の場合、必ずアップデートを行ってください。

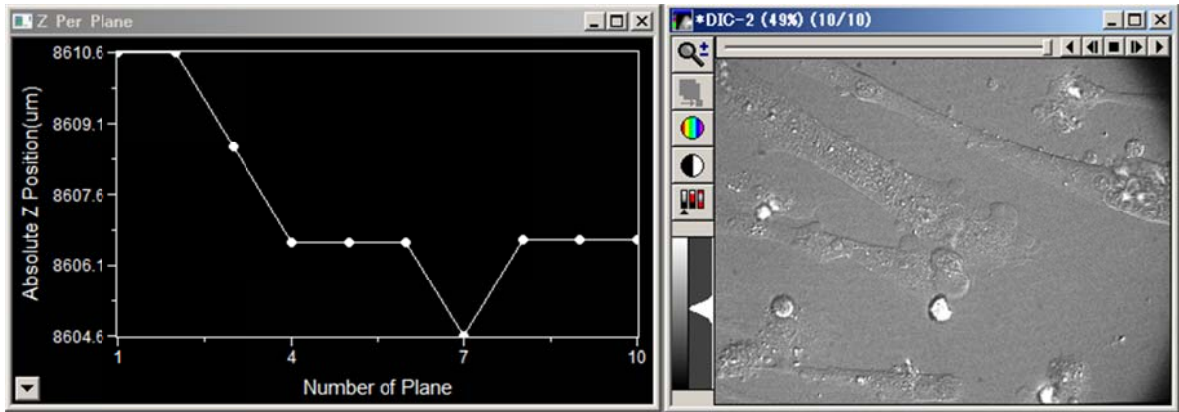
バージョン 7.8.2 にアップデートできない ID の場合、有償になりますが、メンテナンスの更新手続を行っていただきたいと思います。

Meta Imaging Series では、常にプログラムの修正、機能追加等を行っております。  
できる限り最新のバージョンをご使用ください。

## Journal の紹介

### Z ポジションをグラフにプロットする Journal

タイムラプスのスタックファイルにおいて、時系列の輝度変化をグラフ化する方法は Region Measurement で可能ですが、Z スタックファイルの各プレーンの Z 位置情報を縦軸 Z ポジション、横軸がプレーン番号にプロットする Journal を作成しました



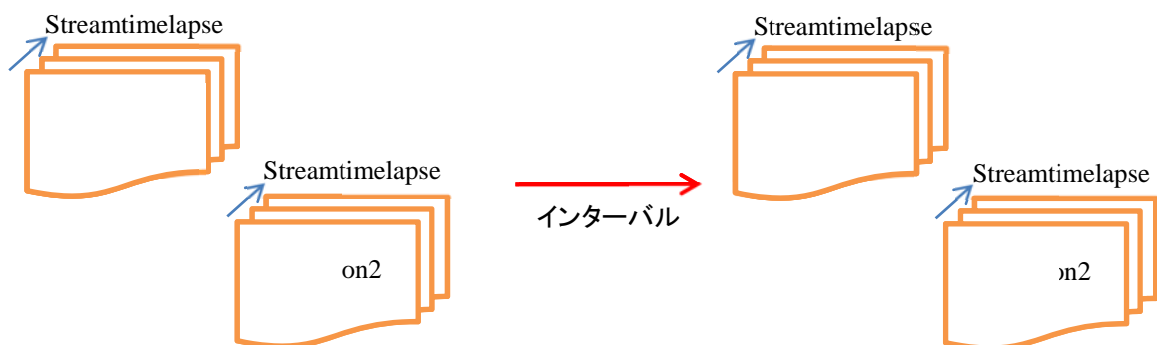
リアルタイム AF 装置などを併用し、撮影したデータの Z 方向のドリフト具合などを視認するのに便利です。

### Multidimensional Acquisition と Stream を組み合わせた多点タイムラプス

Multidimensional Acquisition において、Stream 撮影をすることが可能なことをご存知かと思います。ただし、Stream 撮影と多点タイムラプスの場合、Stream 撮影は Z Scan に限定されてしまいます。本 Journal を使う事で、多点タイムラプス撮影(例:撮影 Position を 2 か所)において

- ① Position1 に移動
- ② Position1 において、任意のフレーム数の Stream timelapse 撮影
- ③ Position2 に移動
- ④ Position2 において、任意のフレーム数の Stream timelapse 撮影
- ⑤ インターバル
- ⑥ Position1 に移動し、以降、①から指定回数繰り返す

といった、撮影を行う事が出来るようになりました。



この Journal は多波長にも対応しております。なお、Z Scan との併用は現時点では対応しておりません。

詳細は当社担当までお問い合わせください